

# 現場・市民 目線で市政チェック。 「いいね！」あふれる大和に。

討議資料

発行元：小田博士後援会  
平成30年春 vol.013

後援会にご加入ください

## おだひろし 大和市議会議員 元産経新聞記者 小田博士の 市政かわら版



### 3月議会 中核市移行に対する考えは？ 市長「是非は慎重に見極める」

中核市という制度をご存知ですか？

中核市は「人口20万人以上」を要件とする大都市制度で、県内では横須賀市が指定されています。保健所の設置をはじめ、様々な業務を市で行えるようになります。行政サービスをきめ細かに展開し、一部業務を迅速化できます。特色ある街づくりを進めやすくなります。何と云っても大和市のブランド力が高まります。

大和市は平成12年、特例市に移行しましたが、この制度は27年に



廃止されました。現在の位置づけは一般市ですが、「施行時特例市」と呼ばれることもあります。

私は市議会3月定例会で、中核市移行に対する考えを質しました。

大木哲市長は、移行時に県から移譲される事務が1800項目以上に上ることを明らかにしました。さらに「身近で充実した保健衛生サービスの提供が期待される一方、事務量の増加や職員の確保、財政負担増大など大きな影響が考えられる」と指摘。「是非は慎重に見極める必要がある」と答弁しました。

#### 一般質問 質疑の要旨

##### 【中核市への移行】(市長答弁)

Q. 中核市移行についての考えは？

A. 本市も要件を満たすことから継続的に調査・検討を行っている。県から移譲される事務は福祉、保健衛生、都市計画、環境、教育など1800項目以上と想定しており、およそ半分が保健所に関する事務と見込んでいる。

身近で充実した保健衛生サービスの提供や、きめ細かな行政サービスの提供などが期待される一方、事務量の増加や職員の確保、財政負担増大など大きな影響が考えられる。引き続き、メリットや課題についての検討を行い、移行の是非は慎重に見極める必要がある。

##### 【南北格差の是正】(街づくり計画部長答弁)

Q. 南部地域の高齢化の背景は？

A. 住居系用途地域や市街化調整区域の割合

が多く、共同住宅や分譲の宅地開発が比較的少ないことが要因の一つと推察する。

Q. 南部への若い世代の居住誘導をどう進めるか？

A. 渋谷南部地区、下福田の土地区画整理事業により良好な住宅地を創出する。

##### 【野良猫対策】(健康福祉部長答弁)

Q. 野良猫に対する苦情件数は？

A. 平成27年度150件、28年度125件、29年度(2月末現在)が52件となっている。

Q. 路上処理をした件数は？

A. 平成29年度は2月末現在、435件である。

Q. どうぶつ基金を活用して避妊・去勢の助成制度を導入できないか？

A. 野良猫は飼い猫と判別がつきにくく、飼い猫と知らずに手術した場合の法的責任の課題が

ある。導入は慎重に判断したい。

##### 【プログラミング教育】(教育部長答弁)

Q. ICT環境の整備はどうか？

A. 平成22年度に小学校の全普通教室へ電子黒板を、26年度には小中全校にタブレット型PCを整備している。29年度時点で児童生徒7.4人に1台、教育用コンピューターが整備されている。プログラミング教育を実施する環境は既に整備できている。

Q. 教員の研修態勢は？

A. 平成30年度から小学校教員全員を対象に研修講座と実技研修を実施する。

Q. 将来的にプログラミングコンテストを開催してはどうか？

A. 子供たちへの体験教室を継続し、レベルアップをはかるなかでその有効性を研究したい。



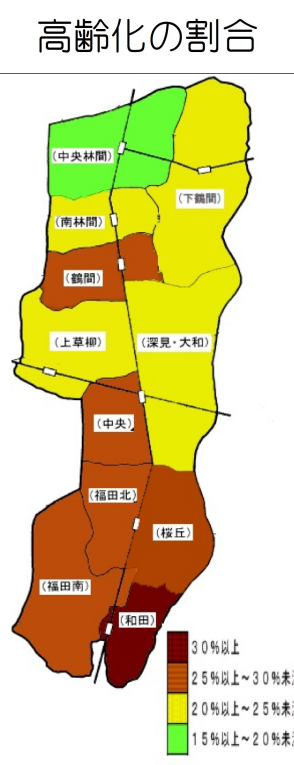
# 南部地域で少子高齢化が進行 広がる「南北格差」 若年層の居住誘導へ子育て環境充実を

この4月、中央林間駅前の東急ストアに図書館や子育て支援施設、行政窓口がオープン。8月には、旧市営緑野住宅跡地に屋内スポーツ施設が誕生します。平成30年度は「中央林間イヤー」です。

大和市ではこれまで、南部では高座渋谷駅周辺を開発し、区画整理事業を行っています。中部地区では平成28年11月、大和駅周辺に文化創造拠点シリオスがオープンし、好評を博しています。市では、北中南にバランス良く行政施設を配置していると説明しています。

ただ、少子高齢化に関するデータを調べると、人口は北部で増える一方、南部では減少傾向にあります。平成29年5月時点の児童数は、最多の北大和小と最少の上和田小で3.6倍に上ります。過去5年間の比較でも北部の児童数は増え、南部は減少です。

高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）



合）は3月時点、北部が21.81%にとどまる反面、半部は28.13%。過去10年間の比較でも南北の差は開いています。二極化傾向を食い止めなければなりません。

地方が過疎化する一方、東京に人口が流入する「東京一極集中」傾向が問題化しています。首都圏にある大和市も、程度の差こそあれ、似たような構造的問題を抱えています。こんな問題意識から、3月定例会では「南北格差の是正」と銘打ち、市内の均衡ある発展を訴えました。

大和市では保育所増設などにより「待機児童ゼロ」が続いています。その努力には敬意を評しますが、配置は北部に偏っています。今後は南部地区でも保育所を拡充し、子育てしやすい環境を整備することで居住誘導を進め、若返りをはかっていくことも課題だと捉えています。

## 市議って何してるの？ お答えします

市民の皆様から「市議って何してるの？」と尋ねられることが多いです。

大和市議会は、会期1カ月弱の定例会が年4回あります。そこで、市が提出した案件を審議し、議決します。委員会審議や本会議場での一般質問を通じて行政を質したり政策提案したりしています。市民らからの陳情を審査し、国に意見書を出すこともあります。

閉会時の活動は人によって様々ですが、私の場合は各種イベント出席をはじめとした地域活動のほか、研修セミナーに参加したり、朝の街頭活動で市政レポートを配布したり、自民党や超党派の各種会合に参加したり…といった活動が多いです。

日頃の活動や考えはブログやホームページなどで発信しています。是非ご覧ください。



### ◆プロフィール

昭和50年1月5日生まれ  
大和市出身／上和田在住

昭和56年 高座みどり幼稚園卒園  
62年 西鶴間小学校卒業  
平成2年 南林間中学校卒業  
5年 中央大学附属高校卒業  
10年 上智大学経済学部卒業  
26年 産経新聞社を自ら退社  
27年 大和市議に初当選

### ◆市議としての役職（平成29年5月～）

総務委員会常任委員、基地対策特別委員会委員、広報委員会（旧・議会報編集委）委員長、市立病院運営審議会委員、平和都市推進事業実行委員

### ◆その他の主な活動

自民党大和市連合支部 政調副会長・広報局長  
自民党神奈川県連 市町村議員協議会幹事  
大和中央シイライオンズクラブ、大和市倫理法人会  
関東若手市議会議員の会（神奈川県代表）、隊友会  
金毘羅神社神輿会など

### ◆産経新聞記者（16年間）当時の職歴

東京本社・整理部→千葉総局→社会部→政治部

### 6月議会

市議会第2回定例会は6月1日から27日まで27日間の日程で開催される予定です。一般質問は同20～22日の3日間です。これに先立って5月9日に臨時会が開かれ、委員会等の役職を決めます。

小田博士後援会

〒242-0014 大和市上和田1792-2-301

小田博士 検索

〈TEL〉046-206-5567 〈FAX〉046-206-4288 〈MAIL〉h-oda@nifty.com

このレポートは政務活動費を使用していません。